

## 令和3年死亡災害発生状況(10月末現在)

沖縄労働局

番号	所轄署	事故の型	起因物	業種別	発生時期	年齢	労働者数 (規模別)	発生状況
1	那覇	墜落・転落	クレーン	その他の金属製品製造業	2月下旬	60歳台以上	50～99	天井クレーンの整備及び点検作業において、地上約7mの高さのガーダからコンクリート床に墜落したものの。
2	那覇	墜落・転落	トラック	その他の廃棄物処理業	2月中旬	50歳台	100～299	ごみ収集車の後方右側ステップに乗車していたところ、右折した際にバランスを崩し転落したものの。
3	宮古	激突され	建設用機械等 (掘削用機械)	その他の土木工事業	4月中旬	60歳台以上	1～9	擁壁の石積作業において、被災者が擁壁頂端部より作業箇所の確認作業を行っていたところ、旋回したドラグショベルの後端部に接触し、擁壁から転落したものの。
4	八重山	高温・低温の物との接触	高温・低温環境	鉄骨・鉄筋コンクリート造家屋建築工事業	5月中旬	10歳台	10～29	建物の基礎型枠解体作業中に体調を崩し、休憩後に救急搬送され、熱中症と診断された。
5	那覇	その他	その他の起因物	社会福祉施設	3月下旬	40歳台	1～9	新型コロナウイルス感染症によるもの。
6	名護	崩壊・倒壊	その他の仮設物、建築物、構築物等	港湾荷役業	5月下旬	60歳台以上	1～9	同僚と2名で倉庫の鉄扉を閉めていた際に、扉が倒れ下敷きとなった。
7	那覇	激突	締固め用機械 (ローラー)	その他の建設業	6月下旬	50歳台	10～29	被災者がローラーを運転し締固め作業を行っていた際に、ローラーを後退したところ、切梁が後頭部に激突した。
8	八重山	高温・低温の物との接触	高温・低温環境	鉄骨・鉄筋コンクリート造家屋建築工事業	7月上旬	50歳台	1～9	建物の基礎のコンクリート打設補助作業後、昼休憩中に体調が悪化して救急搬送され、熱中症と診断された。
9	沖縄	激突され	建築物・構築物	警備業	7月中旬	60歳台以上	100～299	ふ頭のゲートにおいて、門扉中央付近で被災者が倒れているところを発見された。
10	那覇	爆発	炉、窯	クリーニング業	10月中旬	50歳台	50～99	焼却炉内で爆発が発生したことにより、焼却炉の扉が開き、当該扉が被災者に激突した。

※労働者死傷病報告による。統計情報は今後の調査により修正される場合があります。